池田高校科学部だより

10 月号

UNESCO Associated Schools Network
IKEDA High School

H27.8.4(Tue)　池田町のハリヨ生息数調査に参加しました。

　池田町の上八幡の清水池および中川のハリヨを守る会の方々との保護活動も今年度４回目を迎えました。今回は生息数調査に参加させていただきました。

①　まずは投網にてハリヨを捕獲します。

②　水槽に投網で捕獲した生物を移します。

③　ハリヨを探し、カウントしながらバケツに移します。

④　結果をまとめます。

　生息数調査に参加させていただくのは今年度で２回目になります。2，3 年生はハリヨの姿や作業の手順がわかっているのでわりとスムーズにカウントを行うことができました。１年生はまだ不慣れなため、カウントや仕分け作業に手間取りました。ハリヨは一年中１５℃付近の湧水地にしか生息できないため、水温変化に非常に弱いので調査にはスピードが必要です。来年度はしっかりと自分の作業内容を理解したうえで参加したいと思います。

H27.9.10(Tue)　池田高校文化祭が行われました。

　毎年科学部では展示を行っていますが、今年度は以下のテーマで発表を行いました。

① ハリヨ保護活動や東川の調査、および絶滅危惧植物の栽培など、日々の活動の報告

② 池田高校周辺の樹種調査によるマップ展示

③ 池田高校でみられる昆虫の標本展示

④ 各種結晶の展示

⑤ 来場者に体験してもらえるおもしろ実験（液体窒素を用いたものや化学電池で動く模型列車など）

ご来場ありがとうございました。

H27.10.13(Tue)　東川水槽が完成しました。

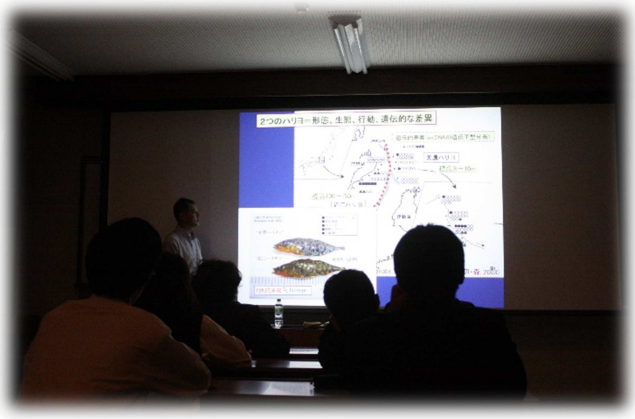
　玄関の事務室前に、学校の西を流れる東川（ひがしかわ）の生態系を水槽内で再現しました。現在水槽に入っている生物は以下の通りです。

- アブラハヤ
- タナゴ２種類（未同定。タイリクバラタナゴではない固有種。）
- サワガニ

- ヤマトヌマエビ
- カワニナ
- ドンコ
- ヨシノボリ

　普段気にも留めないかもしれませんが、これ以上の生物種が生息しています。貴重な生物資源を大切に見守っていきましょう。

H27.10.14(Wed)　岐阜経済大学の森誠一教授より、講義をしていただきました。



今回は「地域環境と地球環境～池田町のハリヨ保護のために今後なにができるか～」というテーマで科学部と２年生の理系クラスを対象に講演をしていただきました。森先生は淡水魚研究、環境保全学の第一人者としてネイチャーなどに多くの論文を発表されています。現在淡水魚では国内では４種類が国の天然記念物として指定されており、そのうち２種が西美濃にしか生息していないなど、池田高校の位置する地域がいかに生態系豊かで学術的な価値があるか、またその中でも池田町に生息するハリヨがどれだけ貴重であるかがわかりました。まさに地域の宝であると思います。地域の固有種は遺伝的に独立しており、他の地域の環境や地域外個体とは相いれないということもわかりました。やはり地域の宝は地域の中で守ってゆかなければなりません。現在、海津市の津屋川がハリヨの生息地として国の天然記念物として指定を受けていますが、それは持続的な保護体制が敷かれていることも大きな条件であるということも聞きました。池田高校科学部も継続して保護に向けた取り組みを行い、上八幡の中川上流部も国の天然記念物として評価されるような活動をしていきたいと思います。講義の後、質問を受け付けてくださり、池田高校の科学部として具体的にどのような活動をしていけばいいのかヒントをいただきました。まずは多くのデータを蓄積し、何年も継続して活動を行い、考察を行っていきたいと思います。